

# 次なる 茨木へ。

茨木には、次がある。

**茨木市役所 高齢者支援課  
社会福祉法人慶徳会  
医療法人恒昭会藍野病院**



# 茨木市の概要

2

大阪府の北部（北摂地域）に位置している。  
山間部（農林地帯）や開拓地（新興住宅地）がある。  
面積 76.49Km<sup>2</sup>

総人口 280,856人 (H29.4末現在)

65歳以上 65,792人

高齢化率 23.43%

介護保険料  
4,940円

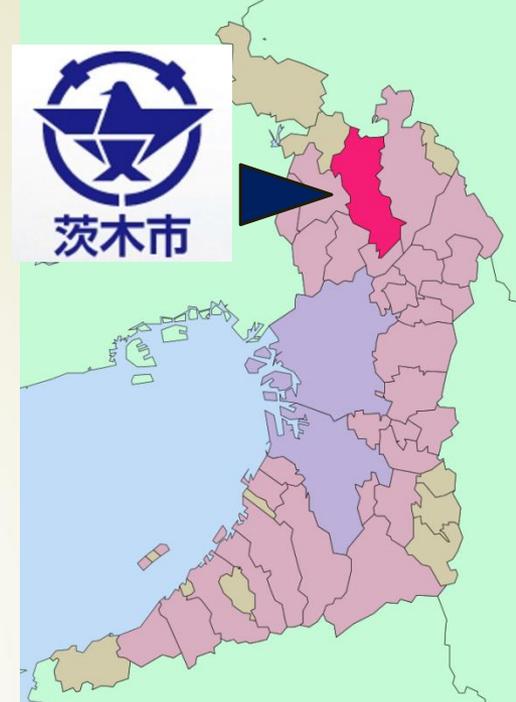
認定率  
17.1% (H29.2)

日常生活圏域数 7 圏域

地域包括支援センター 6 か所

認知症地域支援推進員数 2 人

(H25 医療系 1 人/H28 介護系 1 人追加)



基本目標 2 認知症高齢者支援策の充実

- 1 認知症ケアパスの普及と活用
- 2 医療との連携、認知症への早期対応の推進
- 3 認知症に対する理解の促進と支援体制の構築

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

認知症サポーターキャラバン

認知症サポーター 14,093 人 (H20～)、Jrサポーター 214 人 (H28)  
 認とも 39 人 (H28)、認知症サポータースタッフアンプ 講座講師 28 人 (H28)

みんながやさしい街いばらき啓発のぼり(卓上)

庁内(認知症サポーター受講者)・地域包括支援センター  
 医師会・歯科医師会・薬剤師会・ケアマネジャー等(啓発協力機関)

れんげ新聞 1号(H25.10)、2号(H26.3)、3号(H27.3)、4号(H28.3)、5号(H29.3)、啓発パンフレット(H26、H27、H28)、facebook(H28)

IV 認知症の人の介護者への支援

いばらきオレンジかふえ(専門5・地域9・啓発1) 認知症オレンジダイヤル 老人介護家族の会

認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)

- I 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- III 若年性認知症施策の強化
- IV 認知症の人の介護者への支援
- V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- VI 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- VII 認知症の人やその家族の視点の重視

基本的考え方

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

認知症初期集中支援チーム

チーム・オレンジいばらき(1チーム)  
 受付(延) 211件  
 初期集中支援(実) 62件

認知症地域支援推進員

医療分野 1人(H25～)  
 介護分野 1人(H28.10～)

認知症ケアパス

いばらき認知症ガイドブック  
 いばらき認知症サポートブック

認知症サポート医(3人)(医)

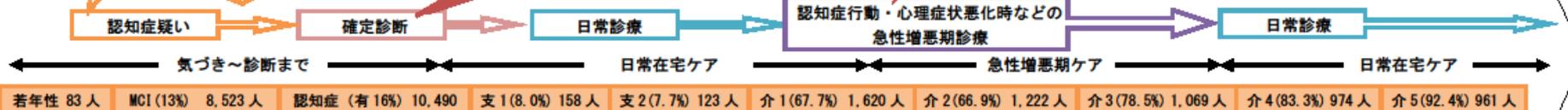
認知症診断・治療支援システム(DMSS)  
 実施医療機関 27か所/206医療機関中

認知症専門医療機関(医)(1か所)

認知症疾患・医療センター(地域型)  
 大阪大・大阪医大(附属病院)

情報連携ツール

認知症チェックシート(医)  
 茨木市在宅療養協力薬局一覧表(薬)  
 チーム・オレンジいばらき連絡シート  
 はつらつパスポート(連携編)



V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

高齢者福祉サービス

- ・茨木童子見守りシール
- ・ごいっしょサービス
- ・電磁調理器給付サービス
- ・成年後見制度利用支援
- ・位置情報お知らせサービス
- ・日常生活自立支援事業 等

地域の見守り体制等

- ・健康福祉セーフティネット(CSW)
- ・福祉委員会「サロン」
- ・福祉まるごと相談会(民生委員・児童委員)
- ・ぶらっとホーム 等

地域ケア会議

- その他  
 ・各種事業所(高齢・介護・障害等)

III 若年性認知症施策の強化(府)

IV 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進(国・府)

VII 認知症の人やその家族の視点の重視(6つの柱のすべてに共通する、プラン全体の理念)

# 認知症地域支援推進員の業務内容

- 1 地域における支援体制の構築
- 2 認知症の人とその家族を支援する体制構築
- 3 認知症の人の家族に対する支援
- 4 認知症への理解を深めるための普及・啓発
- 5 認知症関連施策に関する情報の提供と提案



## いばらきオレンジかふえの分類（市独自）

	啓発型	地域(住民)型	専門(機関)型
目的	オレンジプラン：Ⅳ 認知症の人の介護者への支援 認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解しあう場		
	「認知症を正しく理解する」 「地域で支える」啓発の場	「居場所となり温かく見守る場」 「気軽に相談できる場」	医療、介護施設等で定期的に専門職が相談に対応する場
効果	認知症の理解を深めることができる	安心できる居場所となる 社会と関わりを持つことができる	専門的アドバイスを受けることができる
主体	茨木市	地域住民	専門職(所属職員)
運営	(市) 認知症地域支援推進員 (ボ) 登録認知症サポーター 認とも	(ス) 地域住民 (市) 認知症地域支援推進員、包括 (ボ) 登録認知症サポーター 認とも	(ス) 専門職(所属職員) (ボ) 登録認知症サポーター
内容	①ステップアップ講座 ②ケアパス講座・広報活動 ③模擬カフェ	①推進員ミニ講座（3/年） ②出前講座など自主メニュー ③交流会	①学習（毎回） ②当事者・介護者へのアドバイス ③交流会

現在、茨木市内には

13か所の

# いばらきオレンジかふえ

・ 地域（住民）型 9か所

〈※啓発型カフェからの移行あり〉

・ 専門（機関）型 4か所

（平成29年4月現在）



# 啓発型カフェ

7

始まりは、介護保険施設より、

「山手の地域で近隣に交流の場が少ない為、  
施設の場所を使って、住民に交流して  
もらいたいけどどのようにしたらいいだろう？」

との問い合わせが入ったことから始まった・・・



# 啓発型カフェの主体は 「市」

【第1部】 脳若返り教室 全8回の取り組み

【第2部】 お茶会（交流会）

※ 認知症地域支援推進員が、お茶会（交流会）の進行を行った。

カフェのイメージを持ってもらう為に…

- ① 認知症の気づき？ 最近物忘れが増えてきたかな？
- ② 地域の中の交流の場を知っていますか？ 参加していますか？
- ③ 自分たちで今後したいなと思っていることを教えてください。
- ④ 自分たちで、どんな「集いの場」をつくれますか？

# ラガールカフェ

## ラガールカフェとは…？

認知症の方と家族、地域住民の方など誰もが参加でき集う場です。  
参加者の皆さんでコーヒーやお茶などを飲みながら、  
団らんや情報交換をし、楽しい時間を一緒に過ごしませんか？お待ちしております。

対象者：認知症の方とその家族、認知症に関心のある地域の方

いつ？

毎月第1火曜日  
13時30分～15時



費用は？

無料

お問い合わせ



社会福祉法人 弘道福祉会  
茨木特別養護老人ホームラガール  
茨木市大字安威 12 番地  
TEL 072 (648) 1500  
担当： 古野

# 地域住民主体 の カフェ誕生！



# 地域（住民）型カフェの取組み







# いばらきオレンジかふえmap

お茶でも飲みながら...  
ちょっといっふく  
そんな気楽な雰囲気の中で

**楽しくおしゃべりしませんか  
困った事はご相談ください**

- 参加者どうし、家族どうして交流や情報の交換が行入、安心して過ごせる「憩いの場」となります。
- 専門職による相談や、相談先などの情報提供を行います。
- 見守る店舗等として「認知症サポーター」も活躍しています。

いばらきオレンジかふえを募集したい  
ボランティアとして参加したい  
認知症サポーター養成講座を受けたい  
(学校や職場で開催してほしい)  
★お問い合わせは 高齢者支援課まで (072-620-1637)

実行 茨木市  
協力 茨木市認知症地域連携推進協議会  
平成27(2015)年10月

みんながやさしい街いばらき

**いばらきオレンジカフェ**

「いばらきオレンジかふえ」は  
認知症の人や、そのご家族、地域の人などが  
気軽に集える「憩いの場」です。

茨木市 健康福祉部 高齢者支援課

いばらきオレンジかふえmap

詳しくは、それぞれの「いばらきオレンジかふえ」にお問い合わせください。

<p><b>1 いこいのカフェ</b> 072-627-0033 (社説)</p> <p>茨木市大宮2-1-1 大宮駅前ビル 運営: 大宮駅前ビル 1F 時間: 月・火・水・木・金 13:30-18:00 土・日・祭日 12:30-18:00 参加費: 200円 (お茶・お菓子付)</p>	<p><b>2 アビスパーク</b> 072-620-0900</p> <p>茨木市野洲南1-1-15 運営: アビスパークセンター 時間: 月・火・水・木・金 10:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 200円 (お茶・お菓子付)</p>	<p><b>3 Cafeオレンジハウス</b> 072-636-9015</p> <p>茨木市野洲南1-1-4 運営: カフェオレンジハウス 時間: 月・火・水・木・金 14:00-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 飲み会100円</p>
<p><b>4 いっふく認知症カフェ</b> 072-643-5181</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: いっふく認知症カフェ 時間: 月・火・水・木・金 13:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 200円</p>	<p><b>5 かみふりーラ</b> 072-625-9801</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: かみふりーラ 時間: 月・火・水・木・金 14:00-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 200円</p>	<p><b>6 ぴんぽん ダイアタイムりんりん</b> 072-627-0033 (社説)</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: ダイアタイムりんりん 時間: 月・火・水・木・金 8:00-14:30 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 飲み会100円 お茶・お菓子100円</p>
<p><b>7 ともていゆふらぶら</b> 072-627-0033 (社説)</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: ともていゆふらぶら 時間: 月・火・水・木・金 13:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 飲み会100円 お茶・お菓子100円</p>	<p><b>8 春日丘 憩いの家</b> 072-627-0033 (社説)</p> <p>茨木市春日丘1-1-1 運営: 春日丘 憩いの家 時間: 月・火・水・木・金 13:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 200円</p>	<p><b>9 ふれあい喫茶 みずせ</b> 072-627-0033 (社説)</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: ふれあい喫茶 みずせ 時間: 月・火・水・木・金 10:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 飲み会100円 お茶・お菓子100円</p>
<p><b>10 子民家 "よってこ"</b> 072-627-0033 (社説)</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: 子民家 "よってこ" 時間: 月・火・水・木・金 13:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 200円 (お茶・お菓子付)</p>	<p><b>11 ラガールカフェ</b> 072-648-1500</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: ラガールカフェ 時間: 月・火・水・木・金 13:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 200円 (お茶・お菓子付)</p>	<p><b>12 カフェ 葉葉</b> 072-633-3113</p> <p>茨木市野洲南1-1-1 運営: カフェ 葉葉 時間: 月・火・水・木・金 13:30-18:00 土・日・祭日 10:30-18:00 参加費: 飲み会100円</p>

大塚市のホームページに  
詳細情報が載っていますよ。  
「大塚市認知症カフェ」で  
検索してね。

# 認知症地域支援推進員

15

- A 医療・介護等の支援ネットワークの構築
- B 認知症対応力向上のための支援
- C 相談支援・支援体制の構築



- ・ 市との協働
- ・ 『あいの認知症プロジェクト』  
との協働

# 『あいの認知症プロジェクト』

16



- ▶ 各種ワーキングでは  
医師・看護師  
臨床心理士・作業療法士  
栄養師・ソーシャルワーカー  
医事課担当者が  
院内だけではなく、  
地域全体での  
認知症ケアの向上を目指す



## 認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）

「標準的な認知症ケアパスの作成・普及」に基づき、  
認知症施策に関する連絡会で協議し

H27.3（平成26年度）に初版の認知症ガイドブックを作成

- ▶ 平成26年度の完成を目指す
- ▶ 認知症施策に関わる多職種のなかで話し合い
- ▶ 市と医師会、既存の協力関係も生かして作成
- ▶ いばらき認知症ガイドブックが完成



認知症の人を支える社会資源の整理シート (茨木市の社会資源を認知症の生活圏網番ごとに整理する)

茨木市認知症高齢者地域支援連絡会 平成27年3月現在

みんながやさしい街 いばらき

生活の様子	元気な状態		認知症の軽い		認知症が重くなる	
	自立している	認知症の軽い	認知症が重くなる	認知症が重くなる	認知症が重くなる	認知症が重くなる
支援の内容	介護予防を実施 認知症予防の取組み 地域活動・啓発	認知症の軽い	認知症が重くなる	認知症が重くなる	認知症が重くなる	認知症が重くなる
主な相談先	保健医療課 高齢者支援課 地域包括支援センター	コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 地域の身近な相談先	介護保険課	認知症支援センター 認知症対応型老人福祉センター	在宅介護支援センター 認知症対応型老人福祉センター	在宅介護支援センター 認知症対応型老人福祉センター
家族支援			老人介護家族の会			
維持・無用訪問	介護サービス 地域でできる 権利を守る		こいつしよサービス 位置情報お知らせサービス 自宅にいなから利用するサービス			
医師	市医師会 市民フォーラム 出前講座	かかりつけ医 認知症の相談ができる診療所	配食サービス 在宅生活自立支援事業 成年後見制度	かかりつけ医 認知症の相談ができる診療所	在宅生活自立支援事業 成年後見制度	在宅生活自立支援事業 成年後見制度
歯科医師	市歯科医師会 健口会・かかりつけ歯科					
薬剤師	市薬剤師会 かかりつけ薬局					
緊急時支援 (精神症状がみられる時)						緊急一時保護 医療保護入院

※1:別用「高齢者福祉サービスのご案内」参照  
※2:別用「いつも笑顔で介護体験」参照

「みんなで連携編」は、要支援・要介護状態にある人やその家族が、医療・介護スタッフとの連携・連携をスムーズに行い、介護ケアの充実を図るための情報共有ツールです。

まず本人や家族が必要事項を記入し（両面欄への本人の署名も必要）、日頃から連携し、介護サービスを利用するとき、通院や通所をせらうときに、窓口で提示して連携事項を記入してもらってください。

対象：要支援・要介護認定を受けて、医療・介護サービスを利用している65歳以上の市民

問合せ：ケアマネジャーまたは高齢者支援課、地域包括支援センター

はつらつバスポート  
～みんなで元気編～

みんながやさしい街 いばらき

みんなで連携編  
対象 要支援・要介護認定を受けている市民  
特徴 ・医療と介護に関する情報共有  
手帳  
・本人や医療・介護スタッフ等が記入し、関係者の円滑な連携・連携に活用

はつらつバスポート  
～みんなで元気編～

高齢者の皆さんが安心して生活できるよう、茨木市と市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市高齢者サービス事業所連合会等が協力して作成しました。

この冊子には、「みんなで元気編」と「みんなで連携編」の2種類があります。日頃から連携し、ぜひご利用ください。

「みんなで元気編」は、65歳以上の市民が日々の健康管理に活用し、介護予防を促進する手帳です。

はつらつバスポート  
～みんなで元気編～

みんながやさしい街 いばらき

みんなで元気編  
対象 65歳以上のすべての市民  
特徴 ・スケジュール帳  
・日々の健康管理に活用  
・自身の心身の状態をチェック  
・認知症について  
・相談先を掲載

認知機能をチェックしましょう  
早期発見のため、小さな変化を見逃さないで

「認知症」と単なる「もの忘れ」の違いは？  
認知症の「もの忘れ」と「もの忘れ」の違い

- 認知症ガイドブック
- 平成26年度 (H27.3)
- 平成28年度 (H29.3)

医師会発行  
茨木市発行

保健医療課  
高齢者支援課

# ガイドブック完成後に検討したこと

21

オレンジダイヤルの電話対応や個別相談対応を通して  
住民向けのケアパスの早期の必要性

## ◆◆住民向けをつくるなら◆◆

- ▶ もっとわかりやすくシンプルなものが必要ではないか
- ▶ そもそも認知症疾患の経過が分るようになる必要があるのではないか
- ▶ さらに多職種からの意見収集（内容・デザイン）が必要ではないか
- ▶ ガイドブックとの統一性

- ▶ 全年齢を対象として字体やデザインで親しみやすさを考慮
- ▶ 市内社会資源の変化も考慮し、内容は更新制

### みんながやさしい町 いばらき

## はつらつパスポート～みんなで連携編～

はつらつパスポート(みんなで連携編)は、要支援・要介護状態にある人の家族や医療・介護スタッフとの連携・連絡システムとして、ケアの充実を図る情報共有ツールです。日頃から標準・介護保険サービスを利用するときは、病院の窓口や窓口で提示して連携事項を記入してもらってください。

問い合わせ先 茨水市健康福祉部高齢者支援課 茨水市駅前三丁目3番13号 TEL: 620-1637

発行 茨水市医師会  
協賛 茨水市  
茨水市在宅医療・介護連携推進協議会  
このケアパスは、認知症早期発見支援センター事業の助成を受けています。  
平成27年9月作成

## いばらき サポートブック

### 認知症 はつらつパスポート・別冊

現在、認知症について特に関心されているのが早期発見・早期対応を軸として、認知症の状態に応じた適切なサービス利用の流れ(認知症ケアパス)を確立するという考えです。  
このため、茨水市医師会と茨水市が協力し、認知症サポートブックを作成しました。  
みんながやさしい町 いばらきとさせていただきます。

#### 相談窓口

地域包括支援センター  
地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者のうちご家族等が、介護・福祉・健康・医療などでご自分から総合的に支えるために設置され、「高齢者の総合相談窓口」です。  
茨水市では、誓いの日常生生活圏域に設置しています。生活上の悩みや相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

施設名	所在地	電話	担当小学校区
茨水市社会福祉協議会 地域包括支援センター	駅前四丁目7番55号	627-0114	津浜、高橋、中央、茨水、大池、中津
茨水市地域包括支援センター 茨水園	安城二丁目10番11号	640-3960	安城、山手台、早瀬、植井
茨水市地域包括支援センター 茨水園	津水一丁目23番22号	641-3164	豊川、郡山、新郷西、島、白川
茨水市地域包括支援センター 茨水園	庄二丁目7番38号	631-5200	三島、太田、庄原、西河原、島、白川
茨水市地域包括支援センター 茨水園	南赤松七丁目11番48号	625-6575	郡、茨池、西、橋本、畑田、赤松、赤松北
茨水市地域包括支援センター 茨水園	沢倉東側14番31号	636-8000	東、玉野、東、長倉、東原、水尻

#### 認知症オレンジダイヤル(茨水市認知症電話相談専用ダイヤル)

受付時間 月～金曜日 午前11時～午後7時  
土・日・祝日(年末年始は12月31日～1月3日)は休止  
フリーダイヤル 0120-556-806

認知症地域支援推進員が対応します。  
●もしの忘れがひどくなれば、お気軽にご相談ください。  
●認知症についての相談も承ります。

#### チーム・オレンジいばらき(茨水市認知症対策推進チーム)

認知症の早期発見・早期対応のために、チーム・オレンジいばらき(保健師・社会福祉士等)が家庭訪問を行い、認知症の人(ご本人)とご家族の支援を行います。  
高齢者支援課 電話 620-1637

#### 高齢者福祉サービス、介護保険サービス等に関すること

高齢者福祉サービス(高齢者支援課 電話 620-1637)  
※お住まいが5歳以上の方、介護保険サービスをご利用いただけます。  
介護保険サービス(介護保険課 電話 620-1639)  
※介護認定を受けた方からサービスをご利用いただけます。  
障害福祉サービス(障害福祉課 電話 620-1636)  
障害認定を受けた方から、介護保険サービスの対象とならない場合は、障害福祉サービスをご利用いただけます。  
詳しくは、各担当課にご相談ください。

### 認知症の相談ができる診療所

※必ずかかりつけ医にご相談ください。(敬称略・五十音順)

1 秋岡・西代医院	玉野	632-3232	31 多田クリニック	中橋	622-1239
2 層相整形外科	三島	620-7540	32 廣見医院	大寺大岩	649-2018
3 石田診療所	寺田	635-2304	33 廣見クリニック	白川	634-8411
4 奥内科医院	西中条町	625-2117	34 田中胃腸科クリニック	稲葉町	634-8228
5 いのうえ内科	竹植町	628-5533	35 たに医院	天王	631-0213
6 茨水診療所	元町	624-3977	36 徳永医院	庄	622-8355
7 今井クリニック	中津町	637-2468	37 中尾内科クリニック	春日	621-4777
8 岩井医院	飯持町駅前	627-2061	38 中島クリニック	中津町	638-6678
9 上野医院	大寺町	622-2343	39 つかひ内科	駒川	636-8305
10 宇都山医院	星見町	634-0202	40 中野野医院	南春日	622-1888
11 うまクリニック	三島	620-1115	41 つかひ内科クリニック	下中条町	621-2194
12 うめだクリニック	永代町	622-3322	42 永井医院	大寺町	622-0237
13 大河内医院	駅前	625-1222	43 西星医院	飯持町駅前	623-6566
14 大嶋クリニック	双葉町	633-0119	44 西御クリニック	春日	622-6166
15 大谷クリニック	別院町	627-6662	45 心臓内科循環器科	大池	637-1472
16 おおたに内科医院	西中条町	622-9060	46 希フタクリニック	永代町	620-2700
17 中橋クリニック	茨池	627-8369	47 つかひ内科	天王	621-7373
18 川尻クリニック	お木町	632-0200	48 橋本診療所	島	634-4724
19 河村クリニック	別院町	622-2569	49 長谷川内科	田園町	637-7521
20 北野外科内科	星見町	635-0131	50 つかひクリニック	玉野	630-6110
21 きたはたクリニック	奥原	648-1010	51 植田医院	本町	622-2278
22 国重整形外科	永代町	622-2373	52 藤科クリニック	沢倉西	635-5122
23 東原医院	宮元町	626-2102	53 船戸医院	下橋	627-3139
24 松本整形外科	真砂	633-8801	54 ベンチャッククリニック	中橋寺町	635-1021
25 鈴木医院	真砂	633-3776	55 細見医院	中条町	622-5159
26 香井医院	東中条町	622-3012	56 増田内科医院	下中条町	624-0661
27 さとクリニック	飯持町駅前	631-8811	57 宮田クリニック	西駅前	631-2600
28 藤川クリニック	中橋	622-3858	58 やまもとクリニック	永代町	645-5166
29 第二近衛診療所	玉野	635-1035	59 山本整形外科	寺田町	636-6267
30 高島整形外科	沢倉西	630-2600	60 山本内科医院	西駅前	622-6466

### 認知症の相談ができる病院

※受診については事前にお問合わせください。

友成会総合病院 津水一丁目34番1号 電話 641-2488	北大阪いわさく病院 堂山一丁目2番2号 電話 643-6921
茨水病院 橋本寺一丁目4番1号 電話 622-2721	

### 認知症の診断ができる病院

※受診については事前にかかりつけ医にご相談ください。

藍野病院 春日町11番18号 電話 627-7611	大阪医科大学附属病院 茨水市赤松西四丁目10番1号 電話 693-1881
新門茨水病院(認知症疾患医療センター) 高橋市赤松西四丁目10番1号 電話 693-1881	大阪医科大学附属病院 茨水市山田五丁目2番15号 電話 06-6879-5111
大阪大学医学部附属病院 茨水市山田五丁目2番15号 電話 06-6879-5111	高槻市立大学町2番7号 電話 683-1221

### その他の相談機関

健康診査やがん検診、健康づくりに関すること  
茨水市健康センター(健康推進課)  
春日三丁目13番5号 電話 625-6685

難病や感染症、こころの健康、医療に関すること  
大槻市立保健所  
大槻市橋本11号 電話 624-4668

### 認知症についてのQ&Aポイント?

認知症は一部の人の病気? 認知症は治らない? 認知症は予防できない?  
認知症は脳の病気にもよりますが、早期発見と適切なケア(ケア)治療のケアを受けることで、症状の軽減や生活の質の向上が期待できます。  
認知症は予防できない? 運動・食事などで生活習慣の改善で、認知症の発症リスクを低くできる可能性があります。

- 資源の詳細については既存のサービスの手引書を利用するきっかけとなるように
- インデックスのような分りやすさ

### 認知機能チェック項目

- 一人で買い物できない
- バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できない
- 貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いが一人でできない
- 電話をかけられない
- 自分で食事の準備ができない
- 自分で着た服を脱いだり、洗った洗濯物を干すことができない
- 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがある
- 5分前に聞いた話を思い出せないことがある
- 自分の生年月日がわからなくなることがある
- 今日が何月何日かわからない時がある
- 何處も同じことになり、聞く
- 大切な物をなくしたり、置かなくなった
- 本人や家族が「認知症だ」と気づく
- 自分でいる場所がどこかわからなくなることがある
- 道に迷って家に帰ってこれなくなることがある
- 電気やガスや水道が止まっていた時に、自分で適切に対応できない
- 1日の計画を自分で立てることができない
- 季節や状況に合った服を自分で選ぶことができない
- 入浴が一人でできない
- 着替えが一人でできない
- トイレが一人でできない
- 身のこなしを一人で整えることができない
- 食事を一人で食べることができない
- 家の中の移動が一人でできない

チェックして「もしもしていい」と思ったら、かかりつけ医や地域包括支援センターなどにご相談ください。

※地域包括ケアシステムにおける認知症マネジメント(DASC-21)を参考に作成

### もの忘れが気になる時期 (認知症発症する時期)

生活の様子: もの忘れがあり、いつも探し物を使っている。金銭管理や買い物など、日常生活はおおむね自立している。

本人のさきも: もの忘れによる失敗や、今まで苦もなかった家事などがうまくいけなくなることが後々に多くなり、何となく不安を感じる時期。

家族のさきも: ・半年前と比べると「なにが？」と不安を感じる。  
・かかりつけ医など専門家に相談したい。

かかりつけ医がいない場合: 地域包括支援センター、コミュニティソーシャルワーカー、ケアマネジャー など

かかりつけ医がある場合: 認知症診療医、認知症の相談ができる診療所・病院、OMSS(※)で診察できる診療所

チーム・オレンジいばさき (認知症初期集中支援チーム)

※OMSS: Dementia Management and Support System  
茨城県医師会が「かつらぎ」夏のお祭りの認知症診断・治療支援システムです。常設ではありませんが、かかりつけ医に問い合わせください。  
茨城県医師会ホームページに地域包括支援センターが掲載されています。

### 日常生活で見守りが必要になる時期 (さまざまな認知症症状が出る時期)

生活の様子: これまでできていた家事や用事などがうまくできない。量がどんどん減っていった。服装管理ができない。

本人のさきも: ・「自分はどうなっているのだろう」という不安がある。  
・「私は認知症じゃない」と病院なんか行かなくていいという拒否的な思いがある。

家族のさきも: ・専門の医師に診てもらいたい。  
・ケアマネジャーに相談したい。

ケアマネジャーがいない場合: 地域包括支援センター、介護保険課、居宅介護支援事業所 など

ケアマネジャーがいる場合: ケアマネジャーに相談 (介護相談・介護プラン作成)

介護保険サービス・高齢者福祉サービスなどを利用

通所して活用する: ●デイサービス ●認知症対応型デイサービス ●通所リハビリテーション (看護科、作業療法士、理学療法士、言語療法士) ●小規模多機能型居宅介護 など

訪問を併せて活用する: ●訪問看護・訪問リハビリ (看護師、作業療法士、理学療法士、言語療法士) ●薬の相談・管理(薬剤師) ●ホーヘルパー など

在宅での暮らしを支える: ●位置情報お知らせサービス ●ごいしよサービス など

短期入所する: ●ショートステイ

パソコン・センタード・ケアをご存知ですか?  
認知症の人の持つ能力を引き出すための補助ツールが、認知症の人自身や周りの人から、次第に受け取れる「認知症サポートブック」の人として、周囲に受け入れられ、尊重されたいという気持ちを持つことができます。

### 日常生活で介助が必要になる時期 (認知症症状や身体症状が注目の必要となる時期)

生活の様子: 実行し、着替え、トイレなどに介助が必要になり、身の回りのことは介助が頻れる。家事や買い物は数回しかできず、外出も減る。言葉が出なくなる。

本人のさきも: ・自分らしい生活をしたい。

家族のさきも: ・その方が嬉しいという思い、周りも心配がなくなる。  
・近所の人は迷惑にならないかという不安がある。

行動・心理症状: 多動・不穏興奮(こわい、不安)

身体の病気の合併症: (誤嚥性肺炎)

介護負担 (重度期)

下記より認知症症状や身体症状がある時に利用できるサービス

訪問を併せて活用する: ●在宅療養協会の(往診) ●訪問歯科診療・口腔ケア指導 ●訪問薬剤指導 など

通所して活用する: ●認知症対応型デイサービス ●小規模多機能型居宅介護 など

施設に入所する: ●特別養護老人ホーム ●老人保健施設 ●介護付有料老人ホーム ●グループホーム など

地域の手助け: ●茨城県老人介護支援の会 ●「ついで」の開催 ●「いいカフェ」の開設

地域の相談窓口: ●民生委員・児童委員 ●地区福祉委員 ●認知症サポーター など

病院を併せて活用する: ●行動・心理症状が進行し、時に対応できる病院 ●身体の病気の合併症に対応できる病院





- 認知症サポートブック
- 平成27年度（H27.9）  
医師会発行高齢者支援課
- 平成28年度（H28.11）増刷
- 平成29.3月内容更新  
茨木市発行高齢者支援課

## イベントなどでも広く配布できたが...

- ▶ 市民の使い勝手の確認ができていない
- ▶ 今後どのようなコミュニティーに働きかけていき、意見を収集するかを検討する必要がある

# 今後の活動・取り組みの方向性

26

## 今後も啓発活動を強化

- ▶ ケアパスを活用した介護者世代へのアプローチ
- ▶ 若年性認知症対策を検討するために情報収集
- ▶ 医療系・介護系と推進員が2名体制になったことで、これまで行っていた地域包括支援センターへの定期訪問回数の調整をし、それぞれの専門分野から対応力向上の支援
- ▶ 認知症ライフサポート研修や認とも育成・支援に関する調整・企画の協力実施

# ご清聴ありがとうございました

